

(様式4)

令和3年度 東北ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

「未来を創造する公衆衛生看護活動 ～保健師活動の原点から住民と共に創る未来～」

2. 目的

各支部と情報交換を行い、健康危機管理における保健師機能発揮に向けた取り組みの促進と専門性の高い公衆衛生活動の進を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	令和3年 7月5日(月)	メール会議	令和3年度全国保健師長会 第1回東北ブロック支部長会議 ・令和3年度活動方針について ・令和3年度活動計画について
2	令和3年 10月9日(土)	山形県生涯学習センター 「遊学館」及び Web会議	令和3年度全国保健師長会 第2回東北ブロック支部長会議 (参加者11人) ・各県支部活動状況報告 ・情報提供及び意見交換
3	令和3年 10月9日(土)	山形県生涯学習センター 「遊学館」及び Web研修	令和3年度全国保健師長会 東北ブロック研修会(参加者151人) ・R3年度全国保健師長会活動報告 ・講演「新型コロナ対応と危機管理～保健師リーダーへの期待」 講師：山形県健康福祉医療統轄監 阿彦忠之氏 ・情報交換 「新型コロナ対応における保健師活動」
	令和4年1月		各県支部へ「東北ブロック研修会報告書」の送付

4. 結果・課題

【支部長会議】

- ・ブロック研修会の同日午前 zoom 開催した。オンライン上ではあったが、顔を見ながら情報交換ができた。
- ・各支部の活動状況の課題について情報交換を行った。各支部ともコロナ渦により WEB・やメールなどを活用し、活動を行っているものの会の活動の困難さが指摘された。また、会員減少の課題もあげられた。

【研修会】

- ・ブロック研修会は、第5波が過ぎたちょうどよいタイミングで開催できた。開催県の役

員は会場へ集合、その他の会員は zoom を活用した開催とし、151 人という多くの方から参加を頂いた。

- ・阿彦先生からは、山形県における covid-19 対策における保健所の奮闘と結核対策で培った技術・方法論、感染症対策本部の保健所内設置の実際についてお聞きし、保健師リーダーへの期待とともに、市町村では予防接種業務の中でも、感染症の流行状況など住民にわかりやすく正しい情報を提供してほしいとエールを頂いた。
- ・保健師業務を可視化し、効果的な活動、業務を効率化していくことが重要性である
- ・情報交換においては、各支部長が自分の所属における活動状況についてご報告いただいた。コロナ渦においては、業務が膨大となる中どのように体制を調整し創り上げ、専門性の高い活動を行っていくかが焦点となった。
- ・コロナ渦中、状況によって活動の仕方も刻々と変わるため、困難さを感じた。
- ・コロナ渦で多くの業務を変える中の活動は困難さを感じた。しかし、オンラインであれ、日常の業務から離れ会員の方と意見交わす事は、勇気にもなり明日への活力となった。

5. 支部活動の特徴

ブロック研修会時に県の支部長会議も同日に実施した。また、研修会の内容をまとめ冊子を作製し配布した。

6. 委員・支部長

○ 理事	北澤 真美	山形県上山市健康推進課
理事	尾形 幸子	福島県中保健福祉事務所
青森県	飯田 貴子	青森県野辺地町役場
岩手県	菊池 浩子	岩手県中央保健所
宮城県	只野 里子	宮城県仙台保健福祉事務所岩沼支所
秋田県	高橋 香苗	秋田県健康福祉部保健・疾病対策課
山形県	伊藤 京子	山形県置賜保健所 保健企画課
福島県	三瓶ゆかり	福島県県南保健福祉事務所健康福祉部